

# News Release

2021年9月27日

## AI-OCR with RPAによる業務の効率化について

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長兼社長 柴戸 隆成、以下「FFG」）は、人工知能「AI」を活用した「AI-OCRエンジン（OCR：光学的文字認識）」と、ソフトウェア型ロボット「RPA」を組み合わせることで、帳票に記載された文字（手書き含む）のデータ化業務を飛躍的に効率化する技術を実用化したので、お知らせいたします。

お客様から銀行窓口で受け付ける振込依頼書については、これまでもOCRシステムを活用して事務効率化を図ってきましたが、ヒトが必ず介在するシステムであり、自動処理はできませんでした。

今般FFGは、既存の為替システムから連携された振込依頼書を、「2つ以上のAI-OCRソフトウェアで記入内容を判定・データ化」し、「RPAでデータベース連携・自動入力」することにより、帳票の自動認識処理・ヒトの補正時間の極小化が可能となる技術を実用しました。 ※ 特許公開：特開2019-204417

今後は、本技術を他業務にも応用し、更なる業務効率化を図ってまいります。また、本技術については、他の金融機関との提携や導入支援も検討していきます。

なお、2021年10月に開催されるニッキン主催の「金融国際情報技術展（FIT2021）」にて、本事例の紹介を予定しております。 ※ FIT2021についての詳細は次のサイトで公開 ⇒ <https://fit.nikken.co.jp/seminar/1/2872>

### 関連ベンダー様

領域	製品名	社名
AI-OCR	Flax Scanner	株式会社 シナモン
	データエントリーパッケージ LUCA	株式会社 プリマジスト
RPA	Blue Prism	Blue Prism 株式会社
	WinActor	西日本電信電話 株式会社

### AI-OCR with RPAでの事務フロー



※ FFG 3行（福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行）の窓口での紙帳票による年間受付明細件数

以上

《 本件に関するお問合せ先 》

ふくおかフィナンシャルグループ 事務統括部 事務企画グループ  
 担当（RPA推進チーム） 山崎・内村 TEL 092 - 723 - 2891